

『みんなで水辺の「ひかる生物」を作ろう！』第1回ワークショップ開催 MA



■メディア・アーツ学科

ワークショップ

『みんなで
水辺の「ひかる生物」を作ろう！』

2012年7月11日から14日まで、町田市市民ホールでは『水辺のなかまを探しだそう！“光のまちだハス池”展』が開催されます。

それに向けてメディア・アーツ学科では、昨年に引き続き町田市金井小学校の児童を対象に「光」をテーマにしたワークショップを開催。

メディア・アーツ学科の学生が小学生ひとりひとりについてサポートしながら、子供たちには、ブラックライトで光る塗料を使って「蓮池にいる水辺の仲間」をテーマにした作品を作ります。

7月の展覧会に是非お越しください！

昨年のワークショップ



「光の水族館」を7月に開催 玉川大学と金井小学校

夏休み真っ盛りの7月、町田市市民ホールで「光のまちだハス池」展が開催される。その一環として、玉川大学メディア・アーツ学科と町田市金井小学校が共同で「光の水族館」を制作する。ワークショップを通じて、児童が光る塗料を使って、水辺の仲間を表現する。展示は、ブラックライトで照らすと、魚の体色が浮かび上がる。制作は、7月11日から14日まで、町田市市民ホールで行われる。

玉川大学メディア・アーツ学科の学生が、小学生ひとりひとりについてサポートしながら、子供たちには、ブラックライトで光る塗料を使って「蓮池にいる水辺の仲間」をテーマにした作品を作ります。

特別展示に光を当てながら制作が認められた



紫外線あてると魚が浮かぶ
玉川大生企画 児童が制作

夏の夜の水族館、目撃！「光のまちだハス池」展、黒板土で光る塗料を塗った魚の作り、紫外線をあてると「光る水族館」が浮かび上がる。町田市市民ホールで7月11日から14日まで開催される「光のまちだハス池」展、玉川大学メディア・アーツ学科と町田市金井小学校が共同で「光の水族館」を制作する。ワークショップを通じて、児童が光る塗料を使って、水辺の仲間を表現する。展示は、ブラックライトで照らすと、魚の体色が浮かび上がる。制作は、7月11日から14日まで、町田市市民ホールで行われる。

キャンパス

光の水族館

紫外線あてると魚が浮かぶ

玉川大生企画 児童が制作

夏の夜の水族館、目撃！「光のまちだハス池」展、黒板土で光る塗料を塗った魚の作り、紫外線をあてると「光る水族館」が浮かび上がる。町田市市民ホールで7月11日から14日まで開催される「光のまちだハス池」展、玉川大学メディア・アーツ学科と町田市金井小学校が共同で「光の水族館」を制作する。ワークショップを通じて、児童が光る塗料を使って、水辺の仲間を表現する。展示は、ブラックライトで照らすと、魚の体色が浮かび上がる。制作は、7月11日から14日まで、町田市市民ホールで行われる。

